



加古だより

加古小学校通信
令和4年7月号
No.16 (289号)

自分で成長する夏休み！

校長 吉田 博明

<「自分でやる」ことの意味>

プール学習での検定。昨年まで10mほどしか泳げなかったのに、一気に100m泳げた人がいました。他にも、顔を水につけることもできなかったのに、蹴伸びができるようになった人など、大人では考えられないような成長をする人がたくさんいました。

また、個人懇談で、昨年までは、テストの点数が悪くても全然気にしていなかったのに、今年になって、自分の点数にこだわるようになってきたというお話を聞きました。

1学期の子どもたちを見て、「自分でやらねば、とやる気になった子どもたちの力はすごい！」と感じます。逆に「自分でやる気」になっていなければ、本当の力にはならない、とも思います。1学期、子どもたちに、「自ら学ぶ」を求め続けてきました。自分たちでつくり上げる自然学校をはじめ、いろんな授業や行事、場面で、「みんなはどうする？」と、問いかけてきました。やってみてわかったことは、「教師がすぐに教えなければ、子どもは本気で考え始める」ということ。教師が先頭に立って教えている間は受け身で、考えているようで、実はあまり頭を使っていないのではないかと感じました。自分たちの頭を使って考えることは、失敗もするし、効率は悪いかもしれないけれど、小学校時代の子どもたちにとって、とても貴重な経験なのではないかと思えます。

この夏休みを上手に使って、どれくらい成長できる時間にするか。勉強するもよし、運動するもよし。たっぷりの時間を使って、自分の好きなことに没頭するもよし。そのことで、周りのみんなが幸せになれば、なおいうことはありません。どうせやるなら、自分が一番成長できる夏休みにしましょう。家事をすることも、とても頭を使って賢くなります。9月に、みなさんの成長した姿、お話を聞くのを楽しみにしています。

<感謝します！PTA活動>

加古小学校は、来年度で150周年を迎えます。毎年、卒業時には正門と一緒に記念写真を撮ります。とても汚れてきた正門。「150周年事業の一環として、PTAできれいに塗り直そう！」、そう言っていただきました。話はとんとん拍子に進み、今、壊れたところを補修し、下塗りが終わったところです。大規模改修もまだの加古小学校。校門まではなかなか手が回りませんが、PTAの方々のおかげで、きれいに生まれ変わろうとしています。いろんな方々の力をいただき、子どもたちの学習環境が守られていることを、心から感謝いたします。

